

令和2年2月17日

奈良市観光経済部農政課

### 事業目的

奈良市東部地域において地域の自然・歴史・風習・食・技などに触れて田舎の暮らしを知り、農作業などの体験をすることにより、生きがいを感じ就農へのきっかけづくりとなることを目的とする。

### 内容

奈良市東部地域の公民館（田原・柳生・興東・月ヶ瀬・都祁）が連携し、地元農家などの協力を得て、農作業体験や地域の伝統文化などに触れる「田舎暮らし」を体験する。

### 実施主体

奈良市とする。ただし、業務は地域特性を考慮し公益財団法人奈良市生涯学習財団に委託する。

事業開始年度：平成26年度

**開催場所** 奈良市東部地域の公民館（田原・柳生・興東・月ヶ瀬・都祁）

**対象者** 市内在住・在勤・在学の成人

**評価方法** 実施回数、参加者人数、参加者アンケート、公民館アンケート

実績	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	R1年度 2019年度
開催件数	13	13	13	16	15	22
延べ開催回数	18	26	26	30	32	31
延べ参加人数	353	450	457	416	392	集計中

### 結果と今後の方針

- ・各回地域の特性をいかして企画され、募集人数を超えて抽選になることも多く予定どおり実施された。
- ・事業開始当初から、参加者の満足度は高く、令和元年前期の参加者アンケート結果では、参加した全員（134人）が「満足」・「ほぼ満足」と答えている。令和元年前期参加者のうち、奈良市内東部以外からの参加者が86%（116名）と多く、事業を通じて東部の魅力が伝わっていることが伺える。
- ・公民館へのアンケート結果から、全ての公民館が「事業実施により、参加者と地域の人が交流し、参加者が生きがいや農業の魅力を感じることができた」と回答し、これまでの継続した実施により事業の主要な目的は達成できた。また、本事業を通して「田原畑の会」（田原公民館）や「燻製を楽しもう会」（興東公民館）等、4つの自主グループが新たに立ち上がり、交流が深まっていることがわかる。さらに、地域の講師の生涯学習の機会や多世代の参加者の交流の促進につながったり、地域の史跡や文化・観光資源に興味をもつきっかけとなり実際に訪れていただいたりなどの波及効果もあった。
- ・一方で、農業への関心が高まったものの、就農（農業を生業として営む）に結びつくという点では事業の限界があった。令和元年度末をもってアクティブシニア農業体験事業としては廃止するが、奈良市生涯学習財団の事業として継続する。

アクティブシニア農業体験事業 プチ田舎ぐらし事業の様子



平成 26 年度  
月ヶ瀬公民館 農家の暮らし体験



平成 27 年度  
柳生公民館 さくら染め



平成 28 年度  
興東公民館 大和野菜を味わう



平成 29 年度  
都祁公民館 かぼちゃ植えと玉ねぎ掘り



平成 30 年度  
月ヶ瀬公民館 味噌作り



令和元年度  
田原公民館 串柿としめ縄づくり